

「障害児入所施設移行状況に関する 調査」の結果（速報VOL.3）

—医療型障害児入所施設追加集計分—

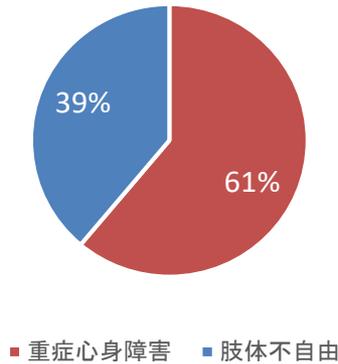
【本資料作成上の留意点】

- ・本会議の議論に資するための参考資料である。
- ・現在集計中の段階のため、数値に関しては精査中であり変更がありえる。

3. 施設主催の障害者支援施設等への移行に向けた連絡調整（ケース会議含む）等の参加状況について（医療型障害児入所施設障害種別での比較）

- ・主として重症心身障害児を対象としている医療型障害児入所施設が情報共有（18歳未満）・ケースカンファレンスについては高い結果となった。
- ・主として肢体不自由児を対象としている医療型障害児入所施設はその他が高い結果となった。

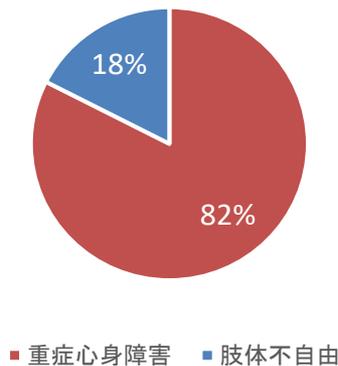
情報共有（18歳未満）：会議数36



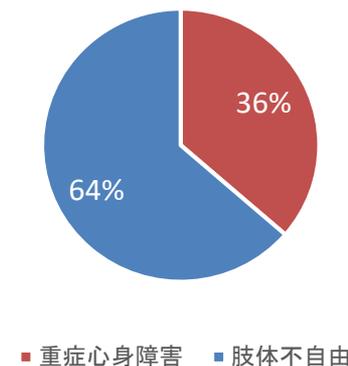
体制整備（18歳未満）：会議数4



ケースカンファレンス：会議数40



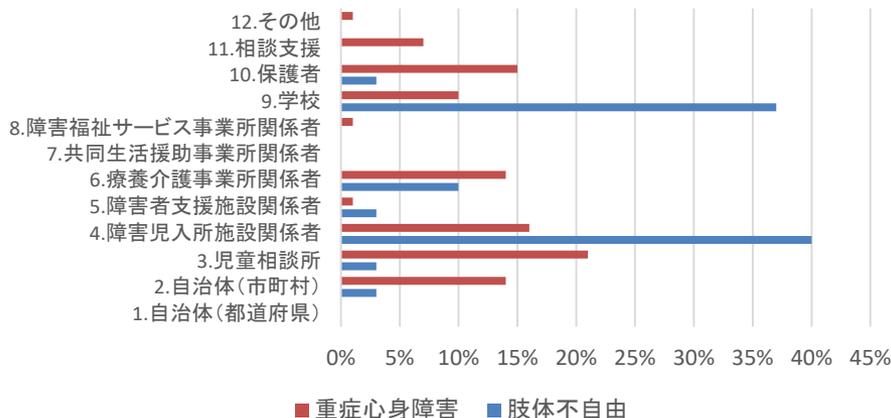
その他：会議数11



○情報共有

- ・重症心身障害: 児童相談所、障害児入所施設関係者、保護者の順で参加割合が高くなっている。
- ・肢体不自由: 障害児入所施設関係者、学校の順で参加割合が高くなっている。

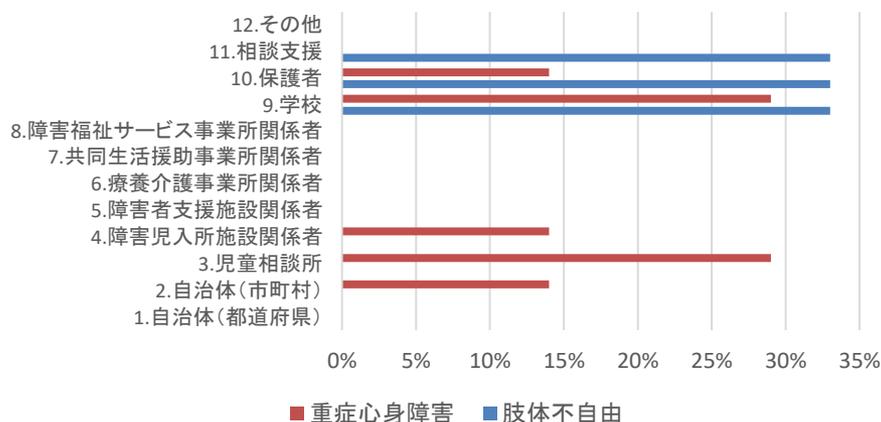
情報共有(18歳未満): 会議数 重心22・肢体14



○体制整備

- ・重症心身障害: 児童相談所・学校の参加割合が高かった。
- ・肢体不自由: 学校・保護者・相談支援以外の参加は見られなかった。

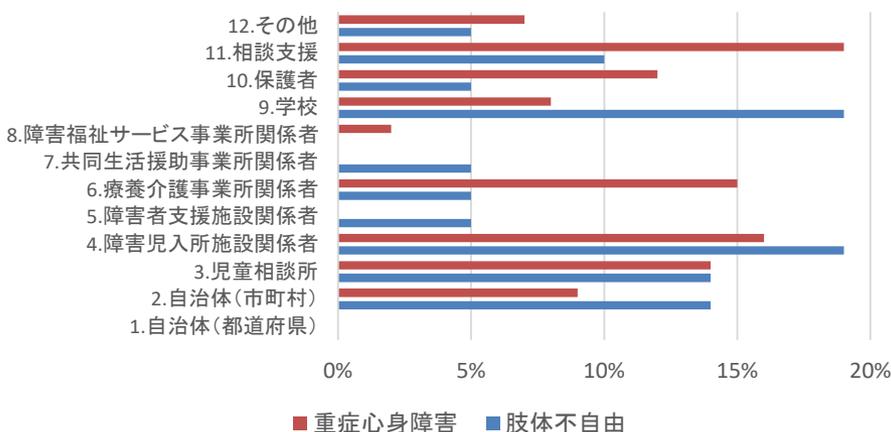
体制整備(18歳未満): 会議数 重心2・肢体2



○ケースカンファレンス

- ・重症心身障害: 相談支援、障害児入所施設関係者、療養介護事業所関係者の順で参加割合が高くなっている。
- ・肢体不自由: 障害児入所施設関係者・学校、自治体(市町村)・児童相談所の順で参加割合が高くなっている。

ケースカンファレンス: 会議数 重心33・肢体7



○情報共有

- ・重症心身障害: 障害児入所施設関係者・保護者・その他が同じ割合で高かった。
- ・肢体不自由: 障害児入所施設関係者、学校、保護者・その他以外の参加は見られなかった。

その他: 会議数 重心4・肢体7

